



新年おめでとうございます 皆様にとって新年が良い年でありますように

施設長 吉田憲一



昨年も一昨年同様にコロナに開け、コロナに暮れた1年でした。今年こそはコロナ気にせずに暮らせる年になるとよいのですが。数年前に昔の思い出話を書きましたが、今回はその続編年よりの昔話パート2をお送りします。

私は昭和24年団塊の世代(年間260万人と日本の歴史上最も新生児が生まれた世代)の一員です。生まれは東京ですが育ったのは静岡県の沼津という人口十数万の地方都市です。本来静岡は関東に比べ温暖な気候なのですが、子供のころ冬は寒く通学路には霜柱、水たまりにはよく氷が張り、友人たちとそれらを踏みつぶして遊んでいました。靴がどろどろになり、よく怒られました。室内も暖房が炬燵、火鉢ぐらいしかなく大変寒い環境でした。同級生にもひび、あかぎれ、しもやけで苦しんでいるものも少なからずいました。ちなみに、小学校は1クラス50人まさに団塊です。春は桜が四月の初め、今よりは2週間ぐらい遅い感じです。夏はやはり暑かったです。ただ5月9月は、過ごしやすく今のように一年の半分ぐらいが夏といった感じはありませんでした。余談ですが、私の中学～高校ぐらいまで夏炎天下の運動時、なるべく水を飲むなという指導が行われていました。水をのむと汗をかいて、かえって体に負担になるという説明でしたが、信じられない人も多いでしょう。それでも夏バタバタと人が倒れるといったことはあまりなかったのも今よりは熱くなかったのでしょう。確かに、盛夏時最高気温はもちろん30℃超えでしたが、最近のように35℃或いはオーバーは殆どなかったようです。地球温暖化は実感として確実に進行しています。



後記憶に残っているのは昭和33年9月26日の狩野川台風です。最盛時の中心気圧が877hPaという化け物台風で、上陸時は若干衰えていましたがとにかく雨が底が抜けたようにふりました。私の家は狩野川からかなり離れていましたが、近くに住んでいた同級生も何人かいて、ジャンジャン雨が降り、ドンドン川の水位が上がり堤防は大丈夫かと心配したところ、急に川の水位が下りはじめ皆ほっとしたそうです。これは何のことはない上流で堤防が決壊したためで中流域では大洪水が起こり1000人以上の人がなくなりました。

その後昭和39年の東京オリンピック、東海道新幹線の開業、昭和45年の大阪万博、高度経済成長から所得倍増昭和元禄へと時代は突き進んでいきました。閉塞感たゞよう現在とは大違いで貧しくはありましたが、昨日より今日、今日より明日暮らしはよくなるという実感があつた時代でした。





クリスマス会2021



2021年12月18日にケアポート・田谷のクリスマス会を2階・3階合同で行いました。当日はご利用者の皆様とクリスマスソングの合唱と、職員による出し物で1時間程の楽しい時間を過ごしました。職員

の出し物は『二人羽織』をお披露目する事になりましたが、昨年

までは外部からボランティアの方を招いてクリスマスソングの演奏もあったので、去年よりは規模が小さくなってしまったかもしれませんが、『それでも良いんです！』

『楽しかったから良いんです！』と言い切る私が二人羽織の犠牲者なんです。当日はジュースを顔に浴び、ケーキを顔に塗ら

れ、ささやかながらも準備されていた食べ物たちが、派手に華々しく散っていったのでした～！

年も明けて2022年、今年のクリスマス会はボランティアの方を呼べれば良いのですがね。



3階介護 村越

暖かい芋煮はいかがですか？



今年も芋煮の季節がやってきました。

天候にも恵まれ晴天となりました。早朝は少し肌寒く感じましたが、ぽかぽか陽気となり絶好

の芋煮日和となりました。当施設の芋煮は、外で薪割を行い、火を起こす所からスタートです。食材も味付けも栄養士さんが妥協を許さない醤油ベースで本格的に行なっています。ご利用者にも懐かしく感じてもらいながら美味しい物を食べる、このイベントは大人気です。

いよいよ白い湯気を出しながら芋煮が完成してきました。寒いからと遠慮がちな方も外に出て焚火に当たれば、あら不思議！

芋煮を1杯、2杯とおかわり大繁盛でした。不思議なことに木が燃える音や匂い、伝わる熱は室内で暖房をつけるより

も元気が出てくるご様子で「外でこんな風に食べると美味しいね、暖かくて気持ちがいいね」等自然と笑顔が溢れていました。ご利用者の喜んでくれる笑顔や言葉は我々にも大変励みになります。

コロナ感染症も落ち着いてきていますが、以前のようにご家族



にも参加して頂きながらレクレーションを実施できる日はもう少し先のようです。いつかご利用者やご家族と一緒に芋煮を楽しめる日が来ることを心より願っています。

看護課長 玉置

寿司食いねえ



寒さも少しずつ厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じられる頃となりました。

先日行われた寿司バイキングでは、マグロ、いくら、甘海老、たまご、そしてちゃんとガリまでと様々なお寿司が綺麗な桶に並び本格的なお寿司を皆様堪能されていたようです。いつもは小食の方々もおかわりをされており、職員としては嬉しい反面、大丈夫？食べすぎじゃない？と心配する程でした。



私もお寿司は好きですが、いつも廻っている寿司屋にしか行かないもので、今回のように職人さんが目の前で握っていると余計に美味しく見えていました。お昼ご飯の注文をし忘れ食べ損ねたのが残念でなりません。施設では生物の提供が中々難しいところですが、厨房、栄養科の方々のご人力の賜物だと思います。



次回職員用のお寿司どこかにワサビたっぷりでドッキリなんて。



2階介護 堀内

神様のぼやき



新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。



突然ですが、私、ケアポート・田谷に住む「かまどの神様」です。ご利用者の皆様が美味しい食事を召し上がれるように、日々かまどを守っています。「実際はガスだろ！」という野暮なツッコミは置いておいて、私、神様なのに一年中大忙し。朝から晩までフル稼働で、前日も100食以上のてんぷらを揚げたと思ったら休む間もなく元日を迎えて朝からおせちの準備。本来おせちには「正月はかまどの神様に休んでもらうため」という意味があるって聞いたのだけれど、ここの施設は人遣い（神様遣い？）が荒い。朝早くから赤飯炊いて赤魚焼いて、お煮しめ煮たら赤出汁作って……。ああ疲れた。もうちょビッと火出ない。でもね、おせちを前にしたご利用者の笑顔を見たら疲れなんか吹き飛んで、また一年頑張ろうって思ってしまうのです。だって私、ケアポート・田谷の「かまどの神様」なんですもの。



かまどの神様（代筆：栄養科副主任 江崎）



クリスマス会と干支の壁画

今年もあっという間に年末を迎え、ご利用者の皆様への今年一年の感謝としてクリスマス会を行いました。

出し物には毎年頭を悩まされるのですが「寿司アンルーレット！」なるものを披露することになりました。職員の誰かが飛び切り辛い「わさび寿司」を食べるのをご利用者の皆様が当てる、

と言うものです。職員はご利用者にわからないように、わざと辛そうな顔をしたり、辛いのを我慢してとぼけたりと、中々の役者ぶりで、職員も一緒に楽しみながらのゲームでした。司会だったわたしも最後には駆り出され、結果まんまとたっぷりわさび寿司が的中しました！続いては入所の看護師、玉置さんを助っ人とし

迎え入れ、クリスマスらしい雰囲気ギター演奏を披露してもらいました。ご利用者の皆様は懐かしい曲を時折口ずさみながら楽しまれていました。最後は恒例のビンゴゲームを



行い、ささやかなプレゼントをさせて頂き、感謝の気持ちに返させていただきました。ご参加されたご利用者の皆様、お付き合いいただきありがとうございました。

無事クリスマスが終わると残りは一週間足らず。ですが、毎年のように何故か年末のギリギリまで追い込まれるのが、来年のお正月に飾りたい干支の壁画作りです。今年はそれを避けるためかなり早くから始めたはずだったのですが、夏休みの宿題の如く、気づけば最終日も目前。というか完成したのはまさに最終日でした。ご利用者の皆様も総力戦で頑張ってください、何とか完成に漕ぎ着けました。小さな写真ですが出来栄を見てください！素敵な出来でしょう。施設に訪れた際には玄関に飾られた干支の壁画の実物も是非見ていただきたいです。2022

年も皆さんにとって良い年になりますようにお祈りいたします。
通所介護主任 大塚



「食」でつながる新たな「絆」

当施設は、栄区社会福祉協議会と連携して、「フードドライブ」の取り組みを行っています。

この取り組みは、施設で食品を集めて、新型コロナウイルスの影響で収入が減ってしまった方、子育て中の方、学生さんなど、生活にお困りの方や、子ども食堂、配食サービス団体などに、社会福祉協議会を通じてお配りすることを目的とした活動です。

この記事をご覧になった皆様のご家庭で眠っている食品（賞味期限が2ヶ月以上残っている未開封の保存可能なものに限り）が

ありましたら、2月15日まで事務所に受け付けていますので、ご面会の際などにご寄付いただきたくお願い申し上げます。



ケアポート・田谷は、これからも「地域の皆様にとって心の支えとなる施設」を目指した取り組みを行っていきたく考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

事務長：菊池明彦